

2012 賀川記念館 since 1909

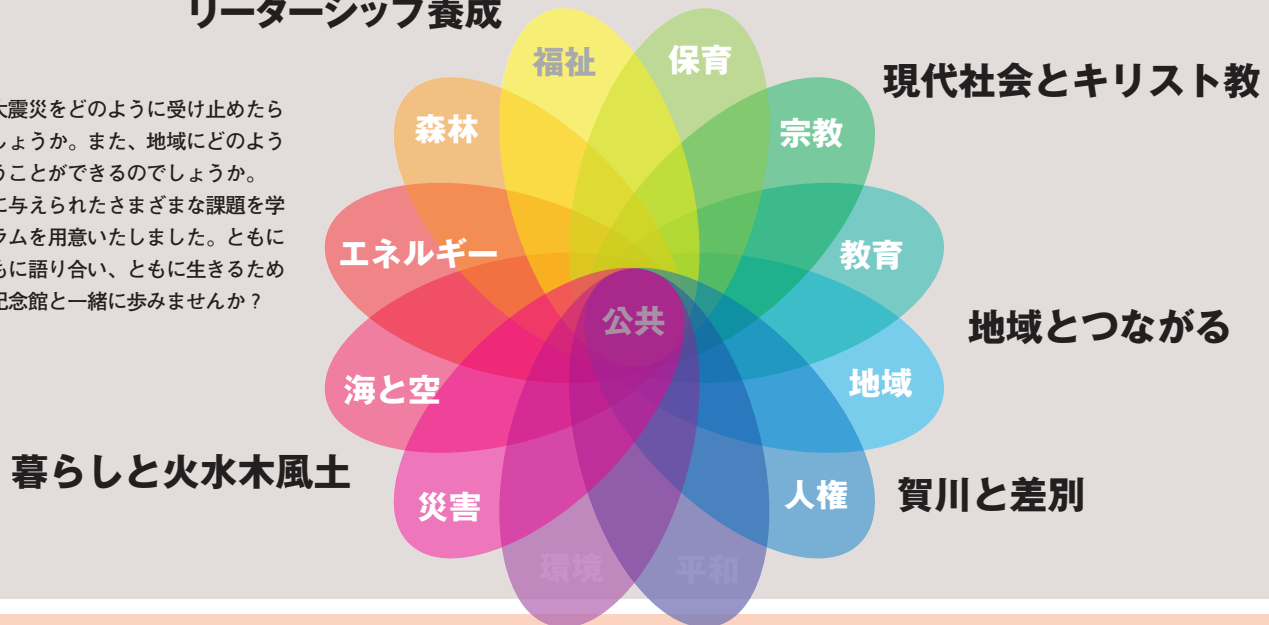
KAGAWA MEMORIAL CENTER

総合研究所 《講座》《研修》《研究》 公開プログラム

リーダーシップ養成

東日本大震災をどのように受け止めたらよいのでしょうか。また、地域にどのように向き合うことができるのでしょうか。

私たちに与えられたさまざまな課題を学ぶプログラムを用意いたしました。ともに学び、ともに語り合い、ともに生きるために、賀川記念館と一緒に歩みませんか？



賀川豊彦とハンセン病 —〈遺産〉の解釈と、実践—

賀川豊彦は、ハンセン病問題の範疇においても重要な「役割」を果たしてきたといわれています。そして、今日では、その「役割」に対する評価は、肯定的にも否定的にもなされています。果たして「先人に学ぶ」とはどのような態度であり、行為なのでしょう。そこで、今回は、賀川豊彦（たち）がハンセン病問題、あるいは「ハンセン病患者」に対して行ってきた「かかわり」と、その「かかわり」に対してなされてきた評価を整理しながら、今日的にどのような実践がなされてきているのか、また求められてきているのかを皆さんとともに考えてみたいと思っています。

小林洋司先生プロフィール

2010年、神戸大学大学院 総合人間科学研究科博士後期課程 修了（学術博士）。関西大学で非常勤を行いながら明石市立高齢者大学校あかねが丘学園、社会教育コーディネーターとして2年間勤務。現在、兵庫大学 短期大学部 講師 神戸大学 非常勤講師 [著書] 「エンパワーメント実践の再考」(共著、『障害者ソーシャルワークへのアプローチ：その構築と実践におけるジレンマ』、明石書店、2011) [論文] ◆「ハンセン病訴訟運動のオルタナティブストーリー」(単著、『障害学研究 4』、2008) ◆「福祉教育・ボランティア学習としてのハンセン病問題学習の構築」(単著、『日本福祉教育・ボランティア学習学会年報』、2008) ◆「福祉教育・ボランティア学習推進プラットフォームの学習論的な意義と特徴」(共著、『日本福祉教育・ボランティア学習学会年報』、2010) など。

講師 **小林 洋司** 兵庫大学 短期大学部 講師

1/26

2013年 1月 26日(土) 15:00～17:00

会場：賀川記念館 4F メモリアルホール

神戸市中央区吾妻通 5-2-20

事務局：電話：078-221-3627

E-mail：office@core100.net

参加費：500円（参加お申し込みは賀川記念館事務局まで）